

前橋市国際交流協会会報

令和6年8月30日発行

Vol.65

MAEBASHI INTERNATIONAL ASSOCIATION

発行：前橋市国際交流協会 編集責任者：田村正男総務部会長 ホームページ：<https://miajapan.sakura.ne.jp>
事務局：前橋市千代田町二丁目5-5 シーズポート2階 電話：027-226-5516 FAX：027-226-1561

実りある国際交流のために

前橋市長 小川 晶



本年2月、第19代前橋市長に就任しました小川晶です。市民の皆さんとの対話や交流を大切にしながら、県都前橋のまちづくりと一緒に進めてまいりたいと考えております。

また、前橋市国際交流協会の皆様におかれましては、日頃からボランティア活動や様々な国際交流事業を通じて、多様な「ともに生きる社会」の実現に向けた取り組みを実施いただき、深く感謝を申し上げます。

さて、2020年頃から猛威を振るった新型コロナウイルス感染症も昨年5月に「5類」に分類され、経済活動が正常化に向かい、人々の行動制限も大きく緩和されました。これに伴い、外国人の日本への移動も容易となったこともあり、現在、本市における外国人在住者は9千人を超える状況となっています。

外国人との交流においては「多文化共生」とよく言われますが、世界中それぞれの地域で生活してきた方々が移住してすぐには日本独特のルールになかなか馴染めず、戸惑ってしまうことは少なくありません。こうした中、前橋市国際交流協会では、日本語教室の開催や外国人相談窓口の開設を通じて、このような方が一人でも少なくなるよう外国人在住者の支援を行っていることに心から感謝申し上げます。これらの活動によって前橋市に住む外国人が不安なく安心して暮らせるようになることを期待しております。

また、本市では、アメリカのバーミングハム市と姉妹都市提携を、同じくアメリカのメナーシャ市とイタリアのオルビエート市と友好都市提携を結んでいます。

これらの都市とは、市民マラソンランナーの交流、高校生同士の交流など市民レベルでの積極的な交流が図られています。このような交流でお互いの理解を深めることができていることも前橋市国際交流協会のボランティアの皆さんのご協力があったることと重ねて感謝申し上げます。

私事ではありますが、本年6月に前橋ユネスコ協会が実施した「平和の鐘を鳴らそう！」に訪れたところ、同日に開催された前橋市国際交流協会主催「CHAT & WALK」に参加されていた多くの外国人の方々から「太陽の鐘」を鳴らしにこのイベントにも参加していました。「CHAT & WALK」は外国人と日本人がひとつのグループになって交流を図りながら市内中心地を散策するイベントですが、皆さん楽しそうに参加されている姿が印象に残っています。このような「多文化共生」に繋がるイベントを数多く開催していくことで、言葉の壁や、文化的な価値観の違いなどを乗り越えて外国人と日本人相互の理解がますます進むことを願っています。

本市が進めている国際交流は、本市だけで進めていけるものではなく、多くの市民や関係団体のご協力が必要不可欠です。本市の国際交流が実りあるものとなりますよう、今後とも、皆様のご支援をお願いいたします。結びに、前橋市国際交流協会のますますのご発展と会員皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。挨拶とさせていただきます。

事業計画と予算などが承認される



令和6年度前橋市国際交流協会定期総会は、5月18日（土）に前橋市中央公民館で開催されました。定期総会に先立ち理事・評議員会は4月16日（火）に同じく前橋市中央公民館で開催しました。今回の定期総会は役員のみではありませんでしたが、昨年に引き続き一同に会しての開催ができました。一般会員の皆様には委任状での対応につきまして、ご協力に感謝申し上げます。

議事では、「令和5年度事業報告・会計決算報告」「令和6年度役員改選」「令和6年度事業計画・会計予算（案）」が審議され全て承認されました。

令和5年度の協会事業は、新型コロナウイルス感染症が「5類」に移行され事業展開しやすくなりましたが、参加者の安全を第一に考慮しながら、事業を実施したところであります。今後も「多文化共生」を軸に在住外国人への支援や国際交流の推進に対する取り組みを進めてまいります。こうしたことから、会員、ボランティア、各種団体などと一層の連携を図り、協会事業の充実とともに、市民の国際意識の高揚や外国人が安全・安心に暮らせるまちづくりなどに取り組んでまいります。

主に次の重点項目を中心に各種事業を推進します。

【令和6年度の重点項目】

- ① 在住外国人の安心な暮らしや日本語学習を支援
- ② 市民の国際交流を推進
- ③ 多文化共生事業の支援
- ④ 友好都市との交流事業の協力や推進
- ⑤ 協会運営事業の充実

□ 役員の改選

総会で令和6年度役員が承認されました。今回、団

体の役員改選や人事異動等で新たに役員として就任していただきました新役員は次の皆様です。（敬称略）

《新名誉会長》

小川 晶 前橋市長

《新副会長》

大野 誠司 前橋市副市長

《新理事》

小林 良介 前橋商工会議所青年部副代表幹事

西川 裕志 前橋青年会議所理事長

《新評議員》

横田 勇起 群馬銀行執行役員本店営業部長兼総社支店長

松本 政治 東和銀行執行役員本店営業部長

布川 敏恵 国際ソロプチミスト評議員

澁澤 聖一 前橋市農業委員会会長

高山 浩明 大胡地区代表

小坂 和成 前橋市文化スポーツ観光部長

高松 秀光 前橋市産業経済部長

《新顧問》

笠原 久 前橋市議会議長

関口 雅弘 上毛新聞社代表取締役社長

中川伸一郎 群馬テレビ代表取締役社長

□ 令和5年度決算・令和6年度予算

《収入》

（単位：円）

科目	5年度決算	6年度予算
会費収入	1,762,000	1,775,000
補助金	12,663,000	13,495,000
事業収入	8,150,900	7,954,000
雑収入	1,010,047	1,441,255
繰越金	2,198,886	2,345,745
計	25,784,833	27,011,000

《支出》

（単位：円）

科目	5年度決算	6年度予算
会議費	37,498	114,000
協会運営費	14,695,142	15,379,000
事業費	8,706,448	10,518,000
予備費	0	1,000,000
計	23,439,088	27,011,000

前橋市国際交流協会の法人会員・団体会員の紹介（順不同、会社名・団体名のみ掲載）

群馬日野自動車・石井設計・富士スバル・ぐんま安全教育センター・GCC・カネコ種苗・朝日印刷工業・前橋市医師会・ヤマト・三原工業・前橋青年会議所・サンヨー食品・鶴川興業・前橋観光コンベンション協会・東和銀行・福島産業・サウンドパレット・関東精機・小林工業・群馬銀行・共愛学園前橋国際大学・JTB群馬支社・NIPPON ACADEMY・徳永・祝昌寺・ヒロタ・蜂巢労務管理事務所・菅原・上毎印刷工業・松本印刷工業・群馬ヤクルト販売・有坂中央学園・ALSOK群馬・登利平本社・鈴正コンサルタンツ・山一建設・横田マタニティホスピタル・群馬中央バス・群馬三菱自動車販売・佐田建設・前橋市まちづくり公社・Fuji Language School・富士たちばなクリニック・中央外語学院・ソウワ デイライト・広和技研・増田煉瓦・上信

前橋ユネスコ協会・前橋商工会議所青年部・前橋中央ライオンズクラブ・前橋東ライオンズクラブ・前橋ライオンズクラブ・前橋ロータリークラブ・前橋東ロータリークラブ・前橋西ロータリークラブ・前橋市小中学校長会・前橋中央ロータリークラブ・国際ソロプチミスト前橋・前橋青春の会・前橋北ライオンズクラブ・ハワイアロハライフ協会群馬支部

ご協力ありがとうございます。

第6回 MIA活動賞受賞者決まる！

MIA活動賞は、協会が主催する諸事業に積極的にボランティアとして活動従事し、他の会員の模範となる方を毎年各部会から推薦をいただき表彰する



【在住外国人支援部会】

浅野 久美恵さん

当協会の発足間もない頃から会員として参加し海外留学の経験を活かしてさまざまな活動を続けてきました。また、日本語活動ボランティアとして長年にわたり日本語学習者の支援を続けてきました。

ものです。今回は次の2名の方々が受賞されました。おめでとうございます。



【在住外国人支援部会】

設楽 明伸さん

日本語活動ボランティアとして長年にわたり日本語学習者の支援に尽力され日本語活動グループ全体の発展に寄与されました。また、日本語活動グループのリーダーとしても活躍されました。

MIA活動賞受賞者の声 ⑨

語学講座から広がった世界

井野 民主

私と協会との出会いは、毎月配布される市の広報誌に語学講座募集の記事があり、前々から興味があった英語とイタリア語に応募したことで突然二つの講座で学ぶことになりました。週二回の講座は私にとってとても楽しく、特にイタリア語は未知の世界を垣間見るようで新鮮でした。世話人を受けたことで月に数回は協会へ寄るようになり、そんなことから協会主催のイベントにも関わるようになりました。特に年末恒例の「前橋市交際交流パーティ」では、各国の料理や出し物や衣装など、各国の文化を知ることができる盛りだくさんのプログラムで私もボランティアとしてとても楽しくお手伝いできました。

また、語学講座で学んだ語学を活かそうと海外への経験もしました。姉妹都市であるアメリカのバーミングハム市や友好都市であるイタリアのオルビエート市へも興味を持って行くことができました。

そんなことからでしょうか、あるとき国際交流協会事務局から協会表彰でMIA活動賞を受けることになったとの連絡がありました。これも講座で私を支えてくれた皆様のおかげと感謝いたします。



MIA活動賞受賞者の声 ⑩

楽しくボランティアを続けてきて

中田 照代

私が初めてMIAと関わりを持ったのは語学講座でした。そのときボランティア募集のお知らせがあり、ネットワーク通信なら少しはお役に立てるかもしれないと思い応募しました。先輩方に教わりながら、手書きの原稿を一文字ずつ入力することから始まりました。パソコンやその周辺機器の進歩によって、データで原稿のやり取りができるようになりましたが、最終稿は対面の編集会議で意見交換、情報交換をします。事務局に再度チェックしていただきネットワーク通信が出来上がります。発送はまた別のボランティアさんがしてくださいます。最近はLINEでも配信されるようになり、写真などがカラーで見られるようになりよかったですと思います。

さらに12月の「国際交流パーティ」へは、初めのうちはパーティに参加していただけでしたが、準備段階の料理作りなどもお手伝いをするようになりました。一緒に準備される皆さんのエネルギーに圧倒されつつ、限られた時間内で用意するのが楽しく充実した時間になりました。

コロナ禍で人が集まるのが制限され、最近では屋外での料理なしのイベントが多くなっていますが、再び「国際交流パーティ」が料理作りなども含めたものに戻れたらと願わずにはられません。そのほか国際理解講座などにもできる限り参加して外国の文化などを知りたいと思っています。

ボランティアは人のためであると同時に自分のためでもあり、とても楽しいものだと思改めて感じているところです。



MIA イベントレポート

【 ITALY 】

2024年2月25日(日) イタリア音楽の進化史②

前回のイタリア音楽の進化史①に続く第2弾。協会事務局員ラウラ・ディクローチェさんからの話で、今回はイタリアのクラシック音楽、特にオペラについての講座とソプラノ歌手新井晶子さんによるオペラアリアの演奏でした。



【 BRAZIL 】

2024年3月9日(土) 多文化共生事業「チャット&クラフト」

日本でもお馴染みの凧ですが、今回は日系ブラジル人の上原・ピキ・ギレルメさんと一緒にブラジルの凧作りをしました。参加した外国人と日本の子供さんで仲良く話しながら凧作りができました。



【 CHAT&WALK 】

2024年6月8日(土) 多文化共生事業「チャット&ウォーク」

昨年に引き続き実施した「チャット&ウォーク」です。今年も天気にも恵まれ外



国人と日本人がグループになって前橋の中心市街地を散歩しました。今回は前橋ユネスコ協会の「平和の鐘を鳴らそう!」とのコラボでグループの皆さんも広瀬川沿いの「太陽の鐘」をつく体験ができました。皆さんがやさしい日本語でおしゃべりしながら交流ができたと思っています。

【 AMERICA 】

2024年6月29日(土) 国際理解講座「アメリカ」

立正大学教授で自然地理学が専門の小松陽介先生にアメリカの先住民族であるネイティブアメリカンの文化や生活について、自然地理学や地形学の視点から解説していただきました。先住民の羽飾りワーボネットも体験できました。



【 VIETNAM 】

2024年8月3日(土) 各国料理教室「ベトナム」

ベトナムのデザート「チェー」に挑戦しました。今回の料理教室はベトナム人のボランティアと日本人との交流会を兼ねての開催でした。おいしいデザートを一緒に作りながらおしゃべりも楽しめました。



■ 会員の加入状況 (令和6年3月末日現在)

会員数 個人会員 472人
団体会員 14団体 法人会員 46法人

■ 令和6年度会費の納入にご協力を!!

会費納入は今回同封の振込依頼書(群馬銀行、東和銀行)でお振込みいただくか、事務局窓口にご持参いただいてもお支払いできます。

前橋市在住の外国人 (令和6年3月末日現在)

69か国 合計 9,127人
① ベトナム (1,723) ⑥ ブラジル (510)
② ネパール (1,210) ⑦ ミャンマー (466)
③ フィリピン (1,152) ⑧ 韓国 (398)
④ 中国 (1,140) ⑨ モンゴル (322)
⑤ インドネシア (839) ⑩ スリランカ (267)

ホームページも是非ご覧ください。 <https://miajapan.sakura.ne.jp>